

8月3日のウクライナ情報

安齋育郎

●トウルシー・ギャバード米元下院議員・米国陸軍予備役

「ウクライナは民主主義国家ではない」と言っています。字幕が重なって読みにくい。
<https://youtube.com/shorts/EnLp5adSOE?feature=share>

●オーストラリアのスカイ・ニュースの注目すべき報道(2022年8月2日)

SkyNews(オーストラリア)でコメンテーターが本番で突然「同僚と気まずくなるかも知れないけれど、これ以上黙ってはいられません」と、ウクライナのドンバス地方でのロシア語話者虐待について語った。画面下に「あなたの週刊誌常識を変える」というほどの表示があります。「ゼレンスキーは欧米メディアに描かれているような人物ではない」という表題がついています。

<https://twitter.com/Jano661/status/1554135828523515904?s=20&t=lrTu9Kg0kdyXs3wRom9SxQ>

●英ガーディアン紙、経済戦争でのロシア勝利と欧州敗北を認める

2022年5月31日:「EUは制裁をやめるべき - 有害無益である」(下左)

2022年6月2日:「ロシアは経済戦争に勝利している。ロシア軍の撤退につながる気配はない」(下右)



●「セヴェロドネツクの破壊は全部ウクライナ軍の仕業」、住民証言(2022年7月30日)

セヴェロドネツクの住民が、目の前でウクライナ軍に町を破壊された事実を語る。
https://youtu.be/D_S1d-jY5Q0

※安齋注:インタビュアーが相撲取りほどもデッカイ!

●ウクライナ大統領府長官「冬が来る前に事態を打開すべき」(2022年7月31日)



ウクライナ大統領府のイエルク長官は、7月31日、NHKの単独インタビューに応じました。

この中で、イエルク長官は、ウクライナ軍が南部で反撃を強めていることについて「軍事作戦の詳細を明らかにすることはできないが、国の独立と主権において譲歩することは決してない。領土の一体性を100%回復することがゴールだ」と述べました。

ただ、イエルク長官は「戦争が冬まで続けば、軍事作戦も領土の奪還もより困難になる。冬が来る前に事態を打開すべくあらゆる手段をとることが議論の中心になっている」と述べ、ウクライナ側の軍事活動にも支障をきたしかねない厳しい冬の到来を前に、東部や南部の領土奪還を目指して戦闘を終結させたいという考えを明らかにしました。

一方、イエルク長官は、ウクライナ南部からの穀物の輸出再開について「期待が持てる」としました。

ただ、「ロシアは、食料だけではなくエネルギーなどあらゆる手段を武器にしている。各国は、この動きに対して責任ある行動をとるべきだ」と述べ、エネルギーなどの輸出をてこに制裁解除を求めるロシアの姿勢は変わらないとして欧米各国は、制裁強化など圧力を強めるべきだと強調しました。

●キーウ市長が「もっと武器を」とアピール(2022年8月2日)

※安齋注:この精悍な顔の人物はキーウ市長のビタリ・クリチコ。元プロボクサー。ウクライナ民主改革党の党首でもある。相変わらず、他人の禪で相撲を取る作戦「もっと武器を!!」展開中です。



キーウ市長ビタリ・クリチコ

ビタリ・クリチコ（英語：Vitali Klitschko, ウクライナ語：Віталій Кличко, IPA:[vi'talij klɪtʃ'ko], 1971年7月19日 - ）は、ウクライナの政治家で、現キーウ市長、元キックボクサー、元プロボクサー。元WBO世界ヘビー級王者。元WBC世界ヘビー級王者。現在、ウクライナとドイツに在住。体育学博士号を獲得（キーウ体育大学）した格闘家であり、ニックネームは「鉄拳博士」。弟のウラジミール・クリチコもまたプロボクサーで、元WBA・IBF・WBO世界ヘビー級スーパー王者^[1]。ウクライナの政党「ウクライナ民主改革連合（UDAR）」の党首。2012年ウクライナ最高議会選挙に当選した。

●ウクライナ軍事情報・分析(2022年7月29日)

ウクライナが口封じのためウクライナ捕虜を米国製ハイマースで殺害した模様とのニュースです。

<https://odysee.com/@%E6%83%85%E5%A0%B1%E6%8F%90%E4%BE%9B%>

[EF%BC%88%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%EF%BC%89:f/Ukraine.MilitarySummaryAndAnalysis29.07.2022:5](https://www.youtube.com/watch?v=nHxDmyBJBBk)

●クリスタル・スペイン解説:和平交渉の主役、トルコは平和を望むか？極秘にしたいトルコ外交に迫る-ロシアに敵対する NATO 加盟国だが、プーチンと親密(2022年7月31日)

※安齋注:クリスタル・スペインさんの解説は分かりやすいです(13分30秒ほど)。トルコのエルドアン大統領のあっちにも武器売り、こっちにも武器売り、あっちにもいい顔し、こっちにもいい顔する融通無碍な外交についても論じています。

<https://www.youtube.com/watch?v=nHxDmyBJBBk>

●帰還兵の感動的な家族との再会(2022年5月11日)

戦争の悲しみの裏返しでしょうね。これはこれでとても感動的です。

<https://odysee.com/@PYONTAKA:3/%E5%B8%B0%E9%82%84:1>

●カラオケ:「ドンバスは私たちとともにあり」(2022年7月15日)

※安齋注:4つに分かれた画面が出てきますが、このまま聞いた方がいいと思います。約6分です。歌詞の翻訳(機械翻訳)が出てきます。実は、「Донбасс за нами」(ドンバスは私達と共にあり)というこの熱烈な歌は今から一年以上前、「特殊軍事作戦」が始まる前からロシア圏では歌われており、今ウクライナの真実を世界が認識しつつある中で世界的なロングヒット曲になっているそうです。女性歌手の胸に「Z」マークがあります。

<https://odysee.com/@%E6%9D%B1%E7%80%9B%E5%AE%A3%E9%99%A2:1/%E3%83%89%E3%83%B3%E3%83%90%E3%82%B9%E3%81%AF%E7%A7%81%E9%81%94%E3%81%A8%E5%85%B1%E3%81%AB%E3%81%82%E3%82%8A:0>

●ウクライナの生物研究所についてのヌーランド国務次官の応答(2022年3月21日)

ウクライナにアメリカや NATO とウクライナの協力体制があることの証明でもある。

<https://youtu.be/2E87o byII8>

●フランス大統領選挙も組織的不正(2022年5月3日)

フランス大統領選の不正: マクロンは 2017 年の選挙と同じ手で当選したという。対抗馬のルペン候補の投票用紙だけ同じ場所に切り込みがあって「無効票」扱いになった。現実政治の汚さ!

<https://odysee.com/@Mchan:1/election1:a>

●バイデン発言「プーチンは権力の座に留まってはならない」は本気?

https://www.tiktok.com/@tv_asahi_news/video/7080105490688101633? t=8 UTIEMfqxpC& r=1

●再送かな?長い長い国歌をマイクで熱唱するプーチン。歌好きなのかな?

終わりそうで終わらないロシア国家の大合唱。プーチンは一節も飛ばさなかったという。

<https://youtu.be/qRmpVQZFg3w>

